

# Well Well

第6号



旅に出よう！  
海外に行こう！

坂井瑠実クリニック院長  
坂井瑠実

外來で、「そろそろ透析が必要です」と告げた時、多くの患者さんは絶句；そして長い沈黙の末、ぼつんと「もう旅行も出来ないんですね！」と言われる。この時期、「旅」は特別な意味をもつものらしい。透析をはじめたからと言って今の時代、国内どころか海外旅行でも透析施設を確保さえすれば大丈夫と言ってもただただ落ち込まれるばかりである。長く「透析患者さんと旅に出よう」は、私の課題の一つであった。週3回の透析生活の中、よほど旅なれているか、必要に迫られるかでなければなかなか思い切った旅に出ることが出来ないのが現状で、一人では心配と言う多くの皆様のリクエストに應えて、当院友愛会のご尽力で2月、4泊6日の友愛会ハワイ旅行が実現した。スタッフを含む総勢39名の大パーティーであった。私自身、引率と海外の透析事情を知る事を名目に日ごろのストレスの解消をもくろみ参加した。友愛会幹事さんのきめ細かい計画でとてもとても楽しい意義ある数日を過ごすことが出来たが、何よりも驚いたのは患者さん達のスタミナとパワーで、朝5時起床で透析、観光、買物とエネルギーッシュに行動。こんなにもお元気なんだ！と感激であった。ハワイの透析も、私達がお世話になったアロハ透析センターはおもに日本人観光客向けのセンターで、とてもフレンドリーで、寒いことを除けば（ガンガンにクーラーをかけることがステイタスだそうである）心配も違和感も無く透析終了。3日目嬉しいことにミズライラ・フナヤマ（昨年春観光で来日し、私たちのクリニックで透析を受けた、元横綱曙の高校時代の先生）が我々を訪ねてくださってしばし歓談。車椅子の彼女いわく「旅に出ることはすばらしい！いろんな人とめぐり合い、異文化に触れて生きる活力を得る」と。

翌日彼女が透析をしている透析病院を見学。4シフト、短時間透析、ダイヤライザー40回再使用（4回の間違い？と紙に書いて確かめた）酢酸透析eic、日本の透析の良さを実感した。患者のみなさんのすばらしい笑顔に接して旅に出ることの効用の大きさを改めて考えている。旅行積み立てや、アルバイトの斡旋など、なかなか一人では旅に出られない患者さんの海外旅行を、年に一度くらいは実現していきたい。今ならたくさんさんの海外透析情報もある。旅に出よう！レッツゴー海外！

# ハワイの透析事情

坂井瑠実クリニック スタッフ  
松本伸子、前田恵子、小西秩英子

この度、坂井瑠実クリニック&友愛会 ハワイ6日間の旅に参加しました。ハワイの透析センターを見学する事が出来ましたので、ご紹介します。

お世話になった透析施設は、F.M.C.アロハ透析センターと言うところで、ホノルルにあります。数年前に改築されたようで、フロアーも広くゆったりしていました。

1フロアーに20床あり、すべて椅子式でした。自由にリクライニング出来、天井に固定式のテレビもあり、好みの角度で見れるようになっていました。(但し、日本語の番組があったかは不明?・・テレビを見ていた人は少なかったような気がします。)

この透析センターは観光客の方が多く利用されている施設で、1人のスタッフが3人の患者さんを受け持つようです。透析による旅行時間の制約を考慮してか?透析日は何と朝の5:10起床・6:00ロビー集合・6:30透析開始というハードなスケジュールでした。ホテルから20分弱でセンターに到着すると待合室に全員待機。一人ずつ順番に呼ばれて、透析室に入り、後はいつもと同じ要領で穿刺が始まります。穿刺の様子を見たかったのですが、私達は全員の穿刺が終わるまでロビーで待たされました。「せっかくのチャンスなのに!」と思いましたが、どうも穿刺を見られると緊張するから・・とのことでした。これは各国共通と思い安心しました。(ハハハ・!!)

入室がOKとなり2人ずつ交代で見学に入りました。透析機械は当クリニックでも使用しているメーカーの機種でした。しかし、透析機械(コンソール)の上にある透析状況を示す3連灯のランプ(当クリニックは4連灯で正常運転は青ランプ)が、当クリニックの患者さんの機械はほとんどが黄色でした・・なぜ??これは、透析効率(KT/V)を表示しており、血液検査データや血流量等の情報をコンピューター処理し、ランプのカラーで表示しているそうです。(赤⇒黄⇒青:右にいくほどOK!)

透析効率がすぐにわかり良いようですが、現地の患者さんの血流量は平均300~400ml/minの為、血液中の毒素の除去は良く、短時間で青ランプになります。効率が基準値に達すると透析時間は短縮してもいいそうです。しかし、細胞内の毒素の除去は不十分な気がします。体全体の毒素除去を十分に行うためには、時間をかけて、十分に透析することが大切です。日頃自己管理し、十分に透析を行っている為でしょうね。当クリニックの患者さんは皆顔色がよく活気あふれた表情で透析を受けられていました。(海外でのびのびされていたせいもあったかなあ~!)

はじめは緊張の面持ちで入室していたセンターも2日目は皆さんリラックスした表情で、スタッフと冗談をかわす人もありました。(日

本語の話せるスタッフがほとんどで、言葉の問題がないのは良いですね。私達も英語くらい・・?話せたらいいなあ~!)

せっかくハワイまで来たから・・と言う事になり、急ぎょ他の施設へアポを取ってもらいました。アロハ透析センターの近くの、セント・フランシスコ病院・透析センターを見学する事が出来ました。この透析センターは24床×2フロアーで、患者数は約300人だそうです。アメリカではダイアライザーのリユース(再利用)をよく耳にしますが、実際にダイアライザーの洗浄・消毒を見学し、驚きと共に日本の透析事情の良さを改めて痛感しました。この透析センターでは、ダイアライザーは洗浄・消毒し、およそ40回使用するそうです。透析効率はかなり悪いと思われますし、洗浄・消毒にもかなりの時間と労力が必要ですが、コストやゴミ等の問題から多く行われているようです。クリニックの患者さんが利用した透析センターは日本と同じく使い捨て( Disposable)でしたからご安心下さい。国内でも施設により透析事情はさまざまですが、今回ハワイの施設を見学できた事は本当に良かったと思います。今後もこのような機会が持てる事を願います。参加されました患者さん・家族の方、お疲れ様でした。留守中のクリニックの皆様、ありがとうございました。

PS:ハワイでは、冷房を利かす事が最高のサービス?だそうです。透析室はかなりの寒さです。今後ご利用される方は、ご注意下さい。しかし、さすがハワイ!・・スタッフのユニホームはなんとアロハシャツでした。



# ハワイに旅して

通院しているクリニックと、患者会が合同で始めて企画した、4泊6日のハワイ旅行に、私は一人で参加させていただきました。

海外旅行は同じ旅行会社で二回目ですが、添乗員が同じ人だったので、心強く思いました。ハワイで感じたことは、暖かく、空気がからりとして、さわやかなので、のんびりと歩く人たちの中にと、身体にとってストレスが少ないので、保養には、最適だと、実感しました。

滞在中、二回の透析はアロハ透析センターという所でしたが、同行した病院長、病院スタッフも見守ってくださり、何の問題もありませんでしたし、ホテルと透析センターの送迎は添乗員の方の手配で、タクシーに、ただ乗ってれば目的地まで運んでくれるので、心配はありませんでした。

到着した日と、透析の時意外は、皆、自由行動で、オフショナルツアー、ショッピングと、それぞれ大いに楽しむことができました。あつという間の6日間でしたが、身も心もリフレッシュして、帰国出来ました。

全員、何事もなく元気で過ごせましたことを、お世話してくださったすべての方々に感謝します。

透析歴9年 小高根 朝江

## 瑠実ちゃんのお知らせ!



坂井瑠実

### ハイム御影閉鎖のお知らせ

坂井瑠実クリニック開院の大きな目的の一つは、通院困難な患者さんが容易に通院できる場所を作ることであった。5年前、何度も何度も設計担当者と一緒に県や市に足を運んで、やっと認めてもらったのが坂井瑠実クリニックの4階部分にあるハイム御影で、きちんと許可を貰ってはじめての当然のことである。この4年半、おかげの透析患者さんが在宅として快適な生活を送ることが出来た。一生懸命訴えれば、行政も聞く耳を持って下さるのだと感激したことを昨日のことに思い出す。

去る2月26日クリニックの医療監視があり、ハイム御影は外観上および構造設備、機能上において不備を認めるので次のようなモデル案を参考に改修、改善するようとの指示書を受け取った。即ち、

- 1、エレベーターは原則4階住居者専用とする
- 2、4階3階の階段による行き来を遮断する
- 3、1階ハイム御影玄関から通路部分及びエレベーターホールと診療所を隔壁で分離区分する
- (エレベーターホールの行き来のためドアを設ける場合ドアは常時施錠する事)
- 4、2階3階のエレベーターホールと診療所部分を隔壁で分離区分する
- (2階3階診療所とエレベーターホールの行き来のためドアを設ける場合ドアは常時施錠すること)

5、診療所患者は2階3階に行くときは階段を使用する。ただし車椅子使用など階段利用が困難な患者についてはエレベーターの使用を認める(エレベーターを使用する際は常時施錠されている3、4のドアをその都度開錠することにより行う)

かくして3月31日、ハイム御影は閉鎖と相成った次第である。あとは坂井瑠実クリニックが買い受ける形でクリニックの施設として使う予定をしている。この規制緩和の時代、なんと頭の硬いお役人達か!とただただ残念に思っている。

## Bグループ 村井さん チャリティーゴルフ 優勝!!!おめでとう!

去る3月23日(日)腎疾患対策協会主催のゴルフコンペが有馬カントリーゴルフクラブでおこなわれました。当院からも友愛会から6人、スタッフ側から院長、事務長が参加し、ほかほか陽気、絶好のゴルフ日和の中、兵庫県下から集まった透析者、移植者と医療関係者70人がひごろの腕をきそいあいました。

指を痛めながらも総合で第2位、移植者、透析者の部で見事優勝を勝ち取った村井さんに、大会会長の神戸大学泌尿器科の守殿教授から優勝カップと折りたたみ自転車が手渡されました。2月にハワイで元気にゴルフをされた壺岐さんも80歳のお年とは思えないクラブさばきでホールアウト。同じくハワイで練習してきた院長も「出来過ぎ」のスコアで回ってひごろの運動不足を解消しました。皆さん、来年も元気で活躍下さい。

## 友愛会第4回定期総会 スプリングセミナー2003 開催のお知らせ

日時：2003年5月11日(日)

場所：東部在宅障害者福祉センター2階多目的室

電話：078-882-5675 JR灘駅南すぐ

I. 友愛会第4回定期総会 13:00~13:45

II. スプリングセミナー2003 14:00~16:30

講演：「在宅血液透析について」

講師：長寿会長寿クリニック 吉本 忍 院長

在宅血液透析室長 中尾 弘美 さん

在宅血液透析患者 居戸 正光 さん

